

浸水対策の効果事例 ①

浸水対策完了地区では、台風による浸水被害が激減し、安心して暮らせるようになった！

浸水対策完了地区の約9割で再度被害が発生しなかった！



静岡市上下水道局 水のキャラクター しずみい

■ 浸水対策の経緯

静岡市では平成15年と16年の2年連続で豪雨による大きな被害が発生。
⇒平成18年2月「浸水対策推進プラン」を策定。

下水道部局と河川部局が連携し、重点的かつ計画的に浸水対策を実施している。

ハード対策を実施する浸水対策地区（市内41地区）を選定

⇒平成元年から16年度までの浸水被害履歴から位置付けている。

なお、下水道部局では26地区の主務部局として重点的な整備を実施している。

■ 浸水対策の事例 ※整備水準：1/7年確率降雨（67mm/h）



雨水渠の整備

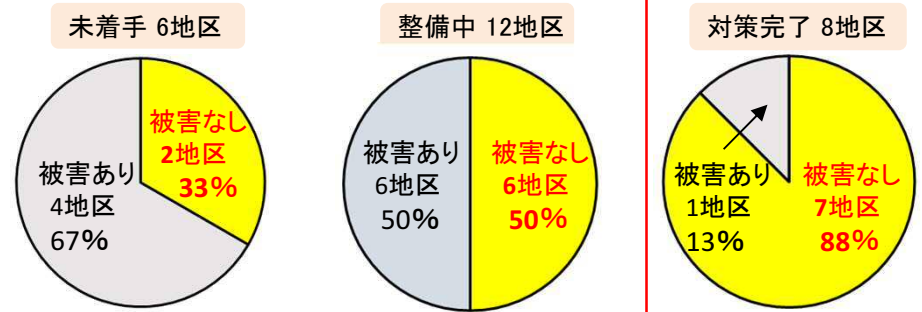
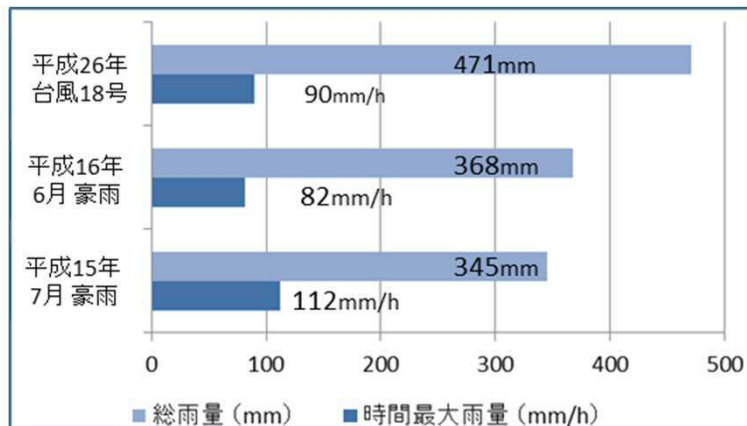


雨水ポンプ施設の整備

■ 浸水対策の効果

平成26年 台風18号において、本市では甚大な浸水被害が発生 ⇒ 下水道部局が主務部局の浸水対策地区（26地区） について対策効果を検証

過去の浸水被害発生時の降雨の状況



※対策完了地区の「被害あり」の1地区は、山から流出した土砂による水路閉塞によるもので、被害は床下浸水1戸のみ

平成26年 台風18号における「浸水被害なし」の割合

未着手地区 **33%** → 対策完了地区 **88%**
(約9割)